

令和8年度 シラバス

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ(前)	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	Amity English Communication Ⅱ（開隆堂）					
学習の到達目標	1 知識・技能 英語を聞いたり読んだりして、必要な情報を読み取り、相手の意図を把握することができる。 2 思考・判断・表現 英語を聞いたり読んだりして、多様な語句や文を用いて、複数の段落から成る文章で情報や考え、気持ちなどを詳しく書いて伝えることができる。 3 主体的に取り組む態度 気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。					
評価の観点	a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度	
	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。		英語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。		コミュニケーションに関心をもち、積極的にコミュニケーション活動を図り、考えや気持ちを伝える。	
評価の方法	上記3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	Lesson1 Okinawa		沖縄の主だった島、美しい自然や食べ物、文化について知り、興味・関心を深め、その魅力に触れる。 ・be 動詞・一般動詞の現在形 ・助動詞 can / will / may / must			
	Lesson 3 Volunteer Work		高校生によるボランティア活動の意義を考え、高校生が地域の伝統芸能を存続させるために行った取り組みとその思いを読み取る。 ・不定詞 名詞的用法/形容詞的用法/副詞的用法 ・受動態			
	Lesson 5 Interesting Aquariums		水族館が3つの役割「種の保存」「生き物について伝える」「研究機関」を果たすことを知り、SDGs の観点からも、生き物を守るためになすべきことを考える。 ・形式主語 it ・形式目的語 it			
後期	Lesson7 Artificial Intelligence		図書館で活躍するネコ型ロボット、料理をする電子レンジなど、実生活で活用される AI を題材とし、AI の機能や進化の先にあるものを想像し、人間と AI の関係について考える。 ・接続詞 when / if ・前置詞 for			
	Lesson 9 Street Performers		街で見かけるジャグラーやミュージシャンなど、ストリートパフォーマーの生き方を通して、夢の実現に向け頑張ることの意味を模索する。 ・分詞の形容詞的用法/分詞構文			
	Lesson11 Finland		高校生の麻衣が叔母の住む北欧フィンランドに向かう飛行機で CA と会話する場面、その魅力が綴られたメールを通して、その魅力に触れ、海外に目を向ける視点を養う。 ・関係副詞 when / where / why			